

1 基本方針

主要な収入財源である預託事業は、平成30年度に鳥取放牧場に牛舎3棟が新築整備されたことにより、乳用牛では冬季においても1,000頭を超える預託牛の受入れが可能となり、また、肉用牛においては240頭の周年預託放牧体制が確立されることとなった。このことにより、最近の高まりを見せる県下畜産農家の預託希望に対し、当協会は県の支援を得ながら受け入れ体制のさらなる充実に努め、畜産農家の優良な後継牛の確保に貢献していくこととする。

この大規模な預託頭数に対し飼養管理技術の高位向上を図るため、全国の優良農場の中から目的別に技術習得が出来るように職員を派遣し、技術レベル向上に努める。

採卵事業は、農家庭先採卵を実施する。本事業を開始してから5年が経過するが、農家毎に正常採卵取得個数にバラツキがあるため、安定的な採卵数の確保ができるよう飼養管理指導を実施したい。

受精卵移植事業は、鳥取・大山各放牧場において場外技術習得研修の受講者を指定して実施し、受胎率50%達成を目指す。

また、主な事業費の約50%を占める飼料費の削減を図るために、高精度の機械を利用し、放牧地の再開発並びに自給飼料圃場の適正な肥培管理を行い良質牧草の収穫量の増加につながる努力を行う。特に、鳥取放牧場においては、放牧場外に飼料圃場の確保を図り、自給率の向上に努める。

更に、月齢適期に受胎させるために預託牛の飼養管理技術の向上を図るため、管理チーム毎の連携を強化し、各チームの技術レベルを高めるための研修を行う。

については、県下の畜産農家から預託を受けた後継牛を農家経営の基礎牛としてお返し出来る管理体制を再度点検し、次に掲げる点について重点的に取り組んで行くこととする。

(1) 受精卵移植の受胎率向上と移植頭数の拡大

預託牛に希望する受精卵を移植しているが、鳥取・大山放牧場の担当職員に技術向上を図るための研修を受講させ、受胎率が平均50%に到達するよう努める。

(2) 自給飼料生産の取組み

平成29年度に高性能機械の整備を実施し、飼料生産の効率化が図られた。しかし、鳥取放牧場の飼料圃場は鹿、猪の被害を受け、冬期の自給飼料が不足となっていることから、今年度から放牧場外に飼料生産圃場を確保し、安定した自給率の定着に努める。

① 良質牧草の生産向上対策

採草地と放牧草地の牧草管理について、牧草収穫目標と放牧密度が高まるような肥培管理を実施する。

牧草収穫目標量	湖山周辺草地及び水田飼料草地	4t/10a
	牧草収穫草地	2t/10a
	放牧頭数密度	70頭/10a/年

② 採草地の土壌改良

鳥取放牧場内の有効土層が少ない採草地へ、本年度も引き続いて湖山池浚渫土を還元し、有効土層の改善を図り収量増加に努める。

(3) 放牧地の再開発

できるだけ多くの預託牛を長期間放牧するよう努めているが、鳥取放牧場の急峻な放牧地では灌木、笹等が繁茂しており放牧が制限されているため、高性能機械により灌木、笹等を除去し播種・施肥を行い、放牧面積の確保に努める。

(4) 飼養管理の改善

① 牛床の敷料確保対策

現在利用している粃殻のみでは牛床の糞尿吸着が悪いため、粃殻と自家製オガコを混合して使用しているが、絶対量が不足していることから新たに未利用資材のオガコ菌床等の再利用方法を検討する。

② 牛舎内消毒による疾病発生予防対策

鳥取・大山各放牧場においては、常時預託牛1,170頭と大規模の飼養管理体制となり、病気等の蔓延防止が重要な課題で、特に伝染性の皮膚病、下痢、肺炎等の予防対策として消毒は必須である。この消毒実施を迅速に効果的に実施するため、乗用のスピードスプレーヤーを利用した伝染性疾病予防対策を定期的に行う。

③ 技術レベル向上のための研修

受精卵移植技術、採卵・凍結保存技術、牧草栽培の肥培管理技術等の技術レベル向上のため、担当職員を派遣し高い技術を習得させ、全牧場職員へ技術の伝達を図りながら能力向上に努める。

(5) 消費者との交流促進

① 畜産理解の醸成活動

大山放牧場の「大山まきばみるくの里」、鳥取放牧場の「ふれあい草地」を地域の幼稚園児、児童、老人福祉施設の利用者等に開放し、畜産への理解醸成を図る。

② 野外教育の場としての提供

鳥取大学獣医学科、鳥取環境大学の学生等に学科単位の取得、卒業論文の材料提供を行い畜産技術者の育成に努める。

2 主な事業計画

(1) 放牧預託事業 【予算額 251,649千円】

① 預託頭数

(単位:頭)

牧場名	畜種	平成31年度計画		平成30年度計画		放牧期間
		新規入牧頭数	月平均飼養頭数	新規入牧頭数	月平均飼養頭数	
鳥取放牧場	乳用牛	560	512	540	428	周年預託
	肉用牛	240	182	210	175	
河合谷牧野	乳用牛					5~10月
	肉用牛		77		72	
大山放牧場	乳用牛	480	380	480	406	周年預託
	肉用牛					
俵原牧野	乳用牛		100		100	4~10月
	肉用牛					
合 計	乳用牛	1,040	992	1,020	934	(H31:周年950頭)
	肉用牛	240	259	210	247	(H31:周年220頭)
	計	1,280	1,251	1,230	1,181	(H31:周年1,170頭)

② 預託料

(単位:頭、千円)

牧場名	畜種	平成31年度計画		平成30年度計画		備 考									
		延頭数	預託料	延頭数	預託料										
鳥 取 放 牧 場	乳用牛	186,720	113,899	156,740	95,611	<table><tr><th colspan="2">預託料/日・頭(税込み)</th></tr><tr><td>乳用牛</td><td>610円</td></tr><tr><td>肉用牛</td><td>500円</td></tr><tr><td>交雑牛</td><td>500円</td></tr></table>		預託料/日・頭(税込み)		乳用牛	610円	肉用牛	500円	交雑牛	500円
	預託料/日・頭(税込み)														
乳用牛	610円														
肉用牛	500円														
交雑牛	500円														
肉用牛	80,300	40,150	69,540	34,770											
大 山 放 牧 場	乳用牛	160,000	97,600	169,890	103,633										
	肉用牛														
合 計	乳用牛	346,720	211,499	326,630	199,244										
	肉用牛	80,300	40,150	69,540	34,770										
	計	427,020	251,649	396,170	234,014										

(2) 人工授精・移植・採卵事業

① 人工授精 【予算額 6,356千円】

(単位:頭、千円)

牧場名	平成31年度計画		平成30年度計画		備 考
	実施頭数	手数料	実施頭数	手数料	
鳥 取 放 牧 場	1,140	4,201	1,080	3,216	技術料:2,000円/頭 精液代等実費
大 山 放 牧 場	760	2,155	720	1,534	
合 計	1,900	6,356	1,800	4,750	

② 受精卵移植 【予算額 2,592千円】

(単位:頭、千円)

牧場名	平成31年度計画		平成30年度計画		備 考
	実施頭数	手数料	実施頭数	手数料	
鳥 取 放 牧 場	170	1,836	170	1,836	技術料:10,800円/受胎
大 山 放 牧 場	70	756	70	756	
受 精 卵 販 売	0		240	5,184	
合 計	240	2,592	480	7,776	

③ 受精卵採卵 【予算額 11,919千円】

(単位:頭、千円)

牧場名	平成31年度計画		平成30年度計画		備 考
	実施頭数	手数料	実施頭数	手数料	
鳥 取 放 牧 場	270	11,919	245	10,816	技術料:43,200円 出張経費
大 山 放 牧 場					
合 計	270	11,919	245	10,816	

(3) 牧草管理事業

① 飼料購入計画 【予算額 124,963千円】

(単位:t、千円)

牧場名	平成31年度計画						平成30年度計画					
	濃厚飼料		粗飼料		合計		濃厚飼料		粗飼料		合計	
	購入量	金額	購入量	金額	購入量	金額	購入量	金額	購入量	金額	購入量	金額
鳥取放牧場	525	26,250	792	47,520	1,317	73,770	453	22,628	684	41,034	1,137	63,662
大山放牧場	310	15,500	594	35,693	904	51,193	340	16,989	650	39,021	990	56,010
合 計	835	41,750	1,386	83,213	2,221	124,963	793	39,617	1,334	80,055	2,127	119,672

② 自給飼料生産計画

(単位:ha、個、t)

牧場名	平成31年度計画			平成30年度計画		
	採草面積	ロール数	収量	採草面積	ロール数	収量
鳥取放牧場	47	2,550	1,275	45	2,430	1,215
大山放牧場	61	1,830	915	61	1,830	915
合 計	108	4,380	2,190	106	4,260	2,130

自給率 60%